

## ● 本施設の意義について



代表取締役社長 鈴木 誠

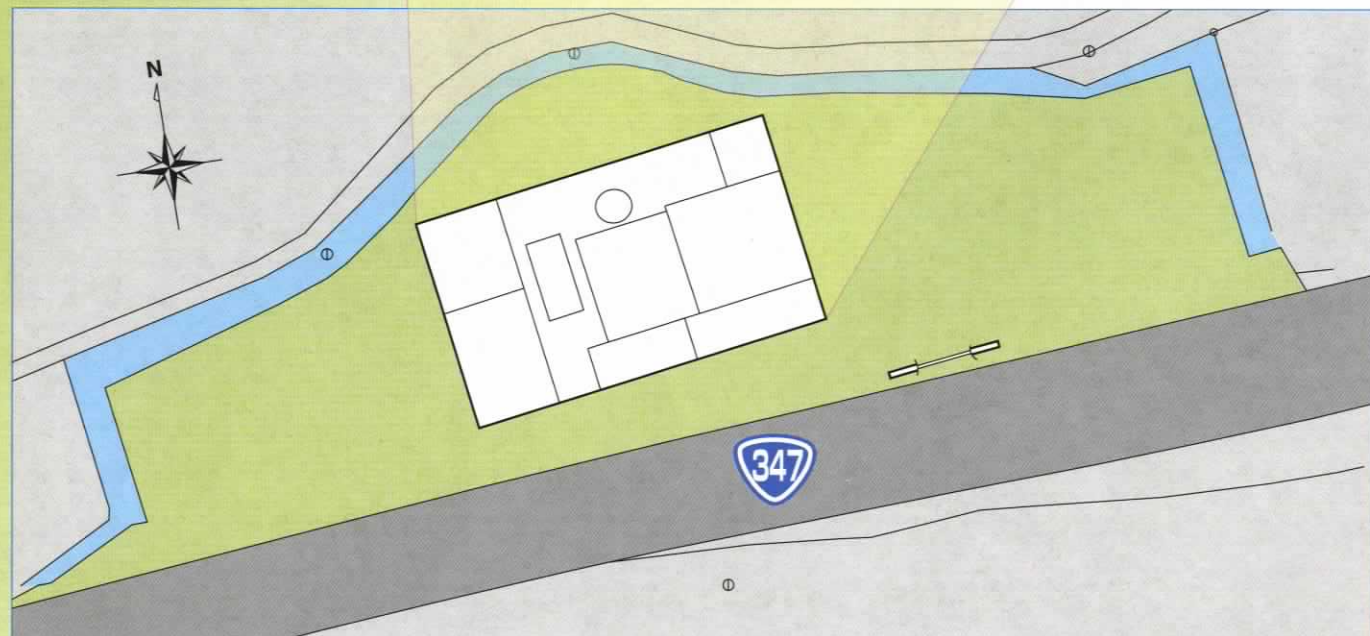
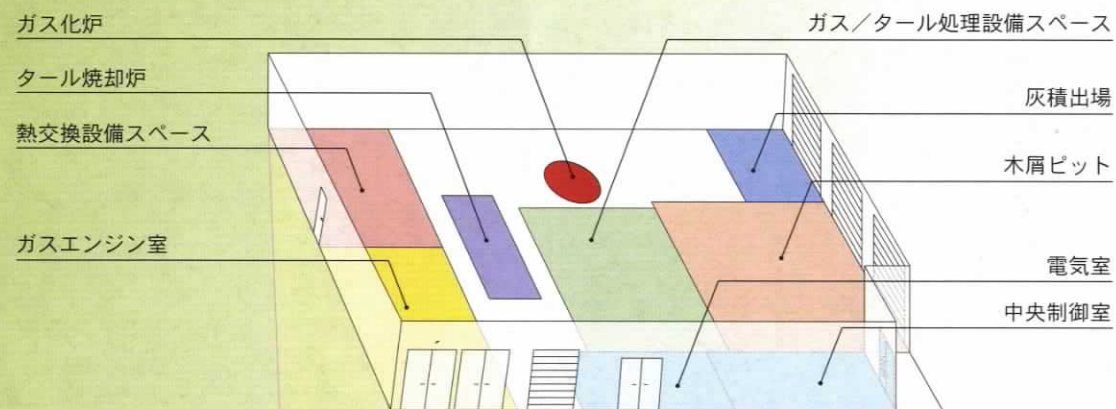
山形県は豊富な木質バイオマス資源を有しており、また村山市の周辺地域は全国でも有数のさくらんぼ等の果樹産地として有名です。本事業は、未利用の林業系バイオマス資源（間伐材・伐採木・伐根・木材センター森林組合、製材所のパーク、半端材・松食い虫被害木・道路、公共施設整備時に出る伐採木・各種支障木・河川ダム流木・街路樹、公園、庭園の剪定枝等）に加えて、果樹園から発生する果樹剪定枝をエネルギーとして有効利用する事業です。

山形県における年間の木質バイオマス資源発生量は約13万トン超で、その内果樹剪定枝が約3.9万トンに及びます。村山地域でもその果樹剪定枝約2万トン超が毎年排出されており、本事業では、果樹剪定枝を含む林業系バイオマス資源の有効利用により循環型社会の構築に寄与し、温室効果ガスである二酸化炭素の排出量削減に貢献することができます。

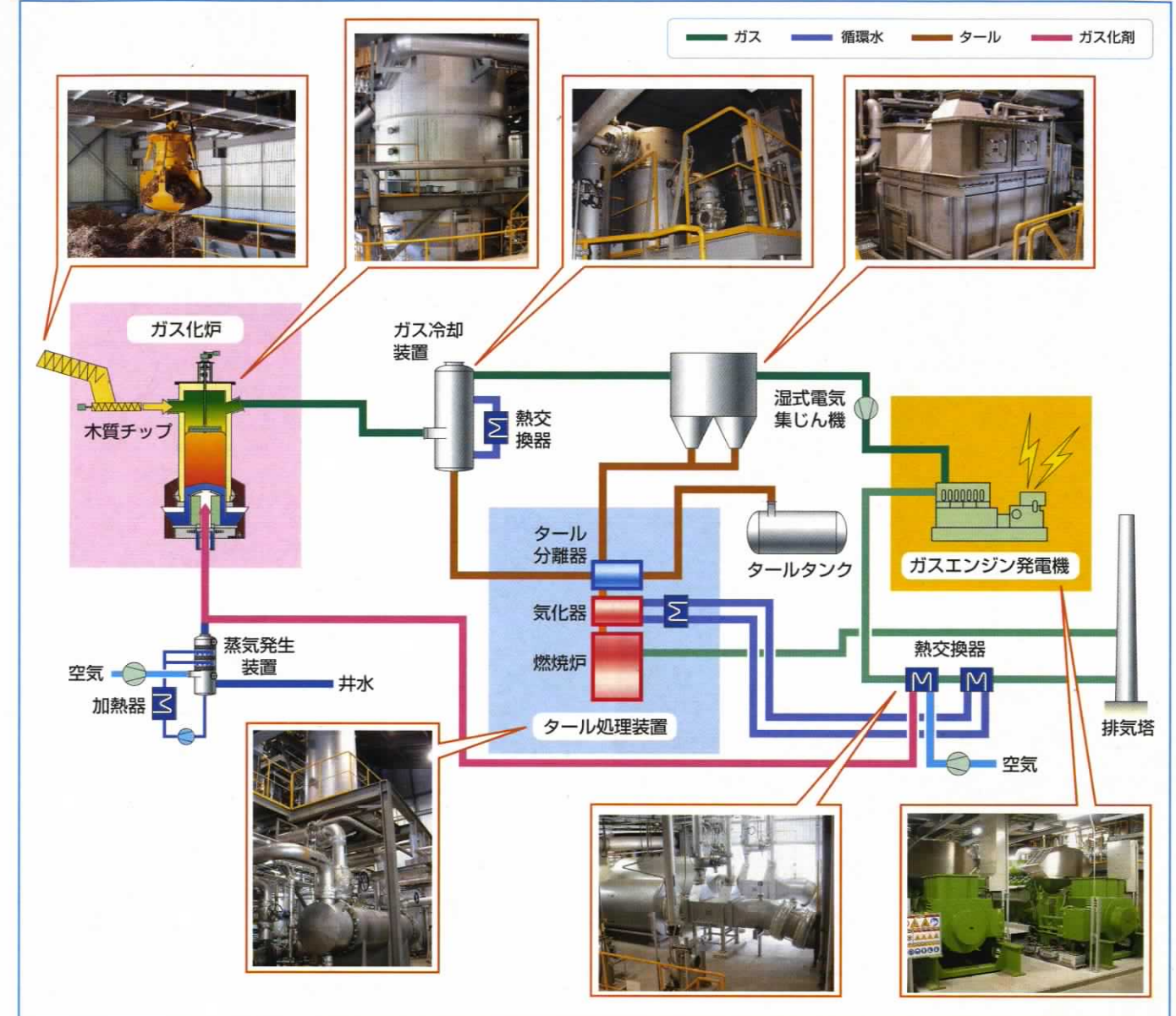
また、村山市のエコタウン構想の一つとして期待されるとともに、全国から注目を集めています。

なお、本事業は、経済産業省より新エネルギー事業者支援対策事業の一つとして、平成17年度・平成18年度の補助をいただいております。

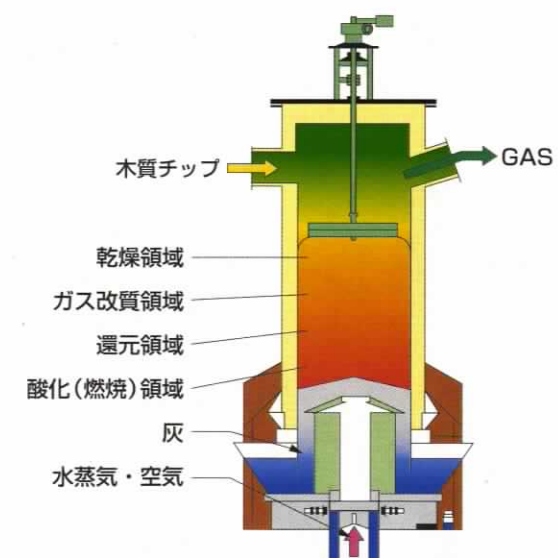
## ● 施設配置図



## ● 設備フロー



## ● ガス化炉



## ● 施設概要

所在地：山形県村山市大字富並字大沢4083-1  
敷地面積：約6,200m<sup>2</sup>  
発電方式：アップドラフト式ガス化炉+ガスエンジン発電機 (ガス化コージェネシステム)  
発電出力：2,000kW (約4,000世帯分)  
年間発電量：約15,000MWh/年 (原油換算値：約4,000kL)  
※原油換算で年間9,200トンの二酸化炭素削減効果  
燃料：木質バイオマス資源 (間伐材、道路河川事業樹木、支障木、ダム流木、松食い虫被害木、果樹街路樹等の剪定枝等) をチップ形状に加工したものを使用。使用量は、年間約20,000トン。  
プラント建設：JFEエンジニアリング株式会社  
建築設計・管理：有限会社辰建築設計室 (村山市)  
総事業費：約15億円